

# 令和7年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立桃山東小学校

全国の小学校6年生を対象に実施されました「令和7年度全国学力学習状況調査」について、結果をまとめました。この調査では、学力調査（国語・算数・理科）と児童への質問調査（学習面・生活面など）も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

## 【総合結果（国語・算数・理科）】

本校児童の結果をみると、国語・算数・理科の3教科ともに、全国平均を上回りました。また、京都府平均よりも若干上回っています。子どもたちの学力の積み上げが確実にできつつあるように感じます。児童が問題に真剣に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれつつあります。

### 国語科より

- ・情報の扱い方や読むこと、言葉の使い方など、全体的に平均を上回りよくできています。
- ・目的や意図に応じて簡単に書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して書く問題や文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題では、正答率が高い結果が出ました。
- ・自分が聞こうとする話の内容を捉える「話すこと・聞くこと」「話し方の工夫」に関する問題では、やや課題がありました。

### 算数科より

- ・全ての領域・観点で、全国平均を上回り、全体的によくできています。
- ・図形の面積の求め方を式や言葉を用いて記述する問題や、適切なグラフから言葉の意味を理解し示された数から必要な数を読み取る問題等、「データの活用」「変化と関係」で力を発揮しました。
- ・コンパスを用いて平行四辺形を作図する問題で弱さが見られました。

### 理科より

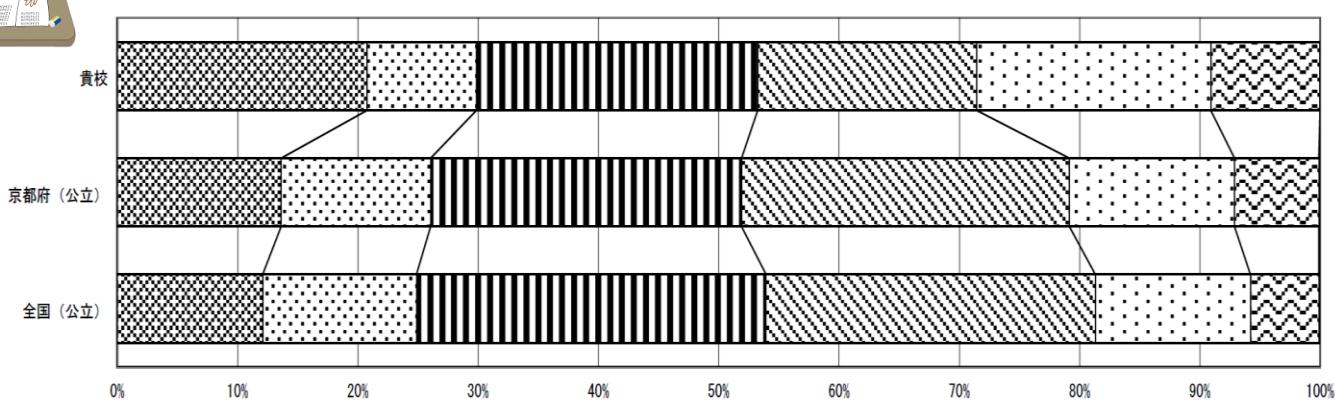
- ・「生命」に関する領域や「エネルギー」に関する領域など、全国平均を上回り、全体的によくできています。
- ・ヘチマの花のつくりや受粉の働きの知識、発芽の条件についての問題等では、高い正答率が出ました。
- ・電流がつくる磁力についての問題や水の結晶について温度によって水の状態が変化するという問題では、正答率が低い結果となりました。

## 【児童質問紙調査から①】



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

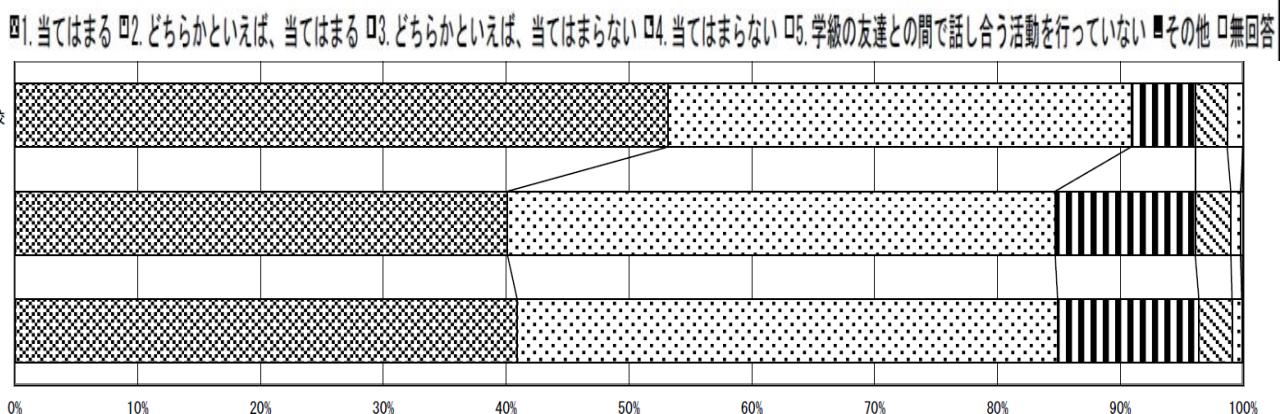
□1. 3時間以上 □2. 2時間以上、3時間より少ない □3. 1時間以上、2時間より少ない □4. 30分以上、1時間より少ない □5. 30分より少ない □6. 全くしない □7. その他 □8. 無回答



授業以外で「1日3時間以上勉強する」と答えた本校の児童の割合は約20%と全国平均や京都府平均と比べて上回っている一方で、「30分より少ない」と答えた児童も多くなっています。これからも、放課後や週末の過ごし方を充実させていくとともに、家庭での学習習慣を大切にした取組を今後も継続していきたいと思います。

## 【児童質問紙調査から②】

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方方に気付いたりすることができますか。



本呼応では、自分の考えを明確にし、友達との交流を通して学びをさらに広げたり深めたりすることを大切にしています。仲間といふるからこそ新たな気づきが生まれ、その考えをもとに学びの質を高め合い、仲間といふるからこそさらに新たな視点をもとに学びを生み出しあうことを、みんなで実感できるような学習活動を展開したいです。

## 【全体を通した本校の成果と課題】

本校では、「自ら カかわり 学び ともに高め合う 桃山東の子」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆さまのご協力を得て、取組を進めています。



この学校教育目標は、「自分から・自ら・進んで」をキーワードに、子どもたちの主体的な思いに基づいた授業や取組を大切にし、より人間らしい「生きる力」である「主体性」を核にして教育活動を進め、次のような子どもの育成を目指そうと設定しました。

- ・友達、周りの人、社会、環境、情報など自分の周りにある全てのものに、自らかかわりをもつことを通して、気づきや考え方をもち、その考え方から問い合わせをつくり、解決しようとする子ども。
- ・子どもたちが自分も相手も大切にしたいと思う気持ちや、自分の問い合わせや考え方を伝え合いたいと思う気持ちを大事にして協働的な学びを進め、子どもたちがお互いに「伝えたい、話し合いたい、聞いてみたい、やってみたい」等のように、「○○したい」と思うことができる子ども

これらの子どもの育成は、学校だけでなく、あらゆる場をフィールドとしてとらえ、幅広く「学び」につなげていくことがとても重要です。めあてをもって学習を進め、自ら振り返りをすることは、学習をする上でとても大切な「主体性」「自ら学ぶ力」となっていきます。また、自ら学ぶことの楽しさや面白さを経験する活動を通して、「学び方」や「ものの考え方」を育てる取組を行っています。

今後も、学校全体の教育活動の中で、子どもたち一人ひとりが考え、悩みながらも互いのよさを見出すことで、自分や他者が共感できる目標を共に探り、その目標に向かって行動する学びを展開していきたいです。そして、子どもたちが将来展望をもち、自分の可能性をより広げていけるよう働きかけていきたいと思います。

## 【保護者の皆さまへ】



全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決したりしていくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していきます。また、基本的な生活習慣や日々の学習習慣が、学力の基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。